

天田愚庵 あほう 歌人。嘉永七年七月、千代澤英國生乳、明治二十七年一月十七日没（八十五歳）。幼名五郎。別名山本五郎、山本鐵眉、甘田入五郎、清水鐵眼、天田鐵、天田鐵（鉄）眼、號天愚庵、夢庵、夢舎、愚庵、林江鐵眼、清水くろけん、破識庵眼等。戊辰戦後父母妹の行方を追ひ諸國を放浪。この間國學を落合直亮公學び、山岡鐵舟の門に入る。明治十四年清水次郎長の養子となるも、のち復姓。二十一年清水禪師の師事し、剃髮。その萬葉調の歌風は止岡千規公も影響を及ぼす。

著書『東海遊俠傳——各次郎長物語』（山本鐵眉名、成島柳北窟、明治十七年四月月刊、興論社）、『巡禮日記』（天田鐵眼名、明治二十七年五月二十一日京都・自刊）、『愚庵遺稿』（明治二十七年七月五日小谷保太郎編輯、文求堂）、『良寛・元政・愚庵選集』（野々村修瀛編輯、大正十二年八月）千五百京都・京文館。再刊、昭和二年一月十日（紅土堂書店）、『清水次郎長』（鐵眼和尚名、戸羽山瀨編、昭和二十一年八月）千五百繪書房『歴史新書』（次郎長）（東海遊俠伝）『一助——野沢公行意識、昭和二十六年十一月、千五百野沢公行刊、静岡・戸田書店』等。

文献、寒川鼠骨編『湖水禪師逸事』（大正十四年五月十八日政教社）。愚庵『巡禮日記』併載）、湯本喜作著『蓮月・元義・愚庵』（昭和七年十一月）千五百帝書房『水鏡叢書』（大坪草一郎著『愚庵の歌』（昭和十一年十一月）千五百竹翠書院）、相馬御風著『愚庵和尚——附愚庵和尚短歌抄』（昭和十一年十一月）千五百春陽堂書店『春陽堂文庫』（會田範治著『東海の大次次郎長（附天田愚庵）』（昭和四十二年四月

十五の郷土史研究会）、中沢止著『考証東海遊談伝』(昭和四十八年八月十五の郷土史研究会出版株式会社)『物語歴史文庫』(等)。